

黙示録 14 章 14 節-20 節 スタディーガイド

第五の布告では、「今から後、主にあって死ぬ死者は幸いである（黙示 14:13）」と言って、殉教していく聖徒たちを励ましていました。

★ 黙示録 14 章 14 節-16 節

また、私は見た。見よ。白い雲が起こり、その雲に人の子のような方が乗っておられた。頭には金の冠をかぶり、手には鋭いかまを持っておられた。すると、もうひとりの御使いが聖所から出て来て、雲に乗っておられる方に向かって大声で叫んだ。「かまを入れて刈り取ってください。地の穀物は実ったので、取り入れる時が来ましたから。」そこで、雲に乗っておられる方が、地にかまを入れると地は刈り取られた。

14 節「私は見た。見よ。白い雲が起こり、その雲に人の子のような方が乗っておられた。頭には金の冠をかぶり、手には鋭いかまを持っておられた。」

人の子のような方は、多くの神学者がイエス様のことであると語っています。かぶっている冠はギリシャ語の「ステファノス」です。

イエス様の冠は、ギリシャ語の「ディアデマ」です。恐らく、ディアデマをお持ちのイエス様が悪に勝利し、ステファノスの冠を「勝利の印」としてかぶっていらっしやるとも考えられます。

黙示録 19 章 12 節「その頭には多くの王冠があつて、ご自身のほかだれも知らない名が書かれていた。」

主は、複数の冠をお持ちです。

「人の子のような方」という言葉が黙示録 1 章 13 節にあり、「足までたれた衣を着て、胸に金の帯を締めた、人の子のような方が見えた」と言って、イエス・キリストが大祭司の姿で表されています。

手に鋭い鎌を持っているのは、穀物を刈り取る時に使う物です。

15 節「すると、もうひとりの御使いが聖所から出て来て、雲に乗っておられる方に向かって大声で叫んだ。『かまを入れて刈り取ってください。地の穀物は実ったので、取り入れる時が来ましたから。』」

御使いが、聖所から出てきて、最後の刈り取りを布告しています。

「地の穀物は実った」というのは、救われるべき人々が、救いを受ける時が来たことを布告しています。

黙示録 13 章 8 節「地に住む者で、ほふられた小羊のいのちの書に、世の初めからその名の書きしるされていない者はみな、彼を拝むようになる。」

小羊のいのちの書に名が書き記されている者は、最後までサタンや反キリストに心を奪われることなく救われます。

救われる人々を刈り取って迎えているのは、主ご自身であると思われます。



黙示録 14 章 17 節－20 節

また、もうひとりの御使いが、天の聖所から出て来たが、この御使いも、鋭いかまを持っていた。すると、火を支配する権威を持ったもうひとりの御使いが、祭壇から出て来て、鋭いかまを持つ御使いに大声で叫んで言った。「その鋭いかまを入れ、地のぶどうのふさを刈り集めよ。ぶどうはすでに熟しているのだから。」そこで御使いは地にかまを入れ、地のぶどうを刈り集めて、神の激しい怒りの大きな酒ぶねに投げ入れた。その酒ぶねは都の外で踏まれたが、血は、その酒ぶねから流れ出て、馬のくつわに届くほどになり、千六百スタディオンに広がった。

第七の布告は 17 節「もうひとりの御使いが、天の聖所から出て来たが、この御使いも、鋭いかまを持っていた。」

鋭い鎌を持っている者は、主ではなく御使いです。

18 節「すると、火を支配する権威を持ったもうひとりの御使いが、祭壇から出て来て、鋭いかまを持つ御使いに大声で叫んで言った。『その鋭いかまを入れ、地のぶどうのふさを刈り集めよ。ぶどうはすでに熟しているのだから。』」

この御使いは、黙示録の 8 章に記されているように、聖徒たちの祈りを香と共に神様の御前に送る役割を持っている者と同じような御使いだと思われます。

聖徒たちの祈りが答えられる時、神様が復讐ふくしゅうをなさる時が来ました。

ブドウが熟しているというのは、彼らの悪が天まで届き、ソドムとゴモラを神様が破壊されたように、反キリストの世界を破壊される時です。

穀物の刈り取りは救いを表しますが、ブドウの刈り取りは審判を表します。

19 節「そこで御使いは地にかまを入れ、地のぶどうを刈り集めて、神の激しい怒りの大きな酒ぶねに投げ入れた。」

酒ぶねでブドウを踏むように、悪人たちが踏みにじられる時が来ました。

20 節「その酒ぶねは都の外で踏まれた」

都の外は、エルサレムの神殿の丘とオリーブ山との間にある、ケデロンの谷のことです。ケデロンの谷のことを、王の谷とも呼びます。

アブラハムが戦いで勝利を得た後、帰路の途上で、いと高き神の祭司に出会った所が王の谷であると、創世記 14 章 17 節に記されています。

創世記 14 章 18 節「シャレムの王メルキゼデクはパンとぶどう酒を持って来た。彼はいと高き神の祭司であった。」

また、この谷はヨシャパテの谷とも呼ばれています。

★ ヨエル書 3 章 2 節

わたしはすべての国民を集め、彼らをヨシャパテの谷に連れ下り、その所で、彼らがわたしの民、わたしのゆずりの地イスラエルにしたことで彼らをさばく。彼らはわたしの民を諸国の民の間に散らし、わたしの地を自分たちの間で分け取ったからだ。

「わたしはすべての国民を集め、彼らをヨシャパテの谷に連れ下り、その所で、彼らがわたしの民、わたしのゆずりの地イスラエルにしたことで彼らをさばく。」

オリブ山とエルサレムとの間にある谷に、反キリストに付くすべての軍隊を集めます。

イスラエルの民を抹殺しようと、エルサレムとボツラに召集された、反キリストの軍隊です。

裁かれる理由は、「彼らはわたしの民を諸国の民の間に散らし、わたしの地を自分たちの間で分け取ったからだ。」

イスラエルの民を世界離散させ、約束の地を異邦人が取り上げたからです。

裁きの基は、イスラエルと約束の地に関連しています。

現在は、1900 年ぶりに約束の地に戻った彼らをいかにして抹殺し、再離散させようかと周辺諸国がざわめき、世界中がマスコミにそそのかされて、それに加担しているのです。

裁きの時に、イスラエルの敵側に付いた人々が罰せられます。

★ マタイの福音書 25 章 32 節－34 節

そして、すべての国々の民が、その御前に集められます。彼は、羊飼いが羊と山羊とを分けるように、彼らをより分け、羊を自分の右に、山羊を左に置きます。そして、王は、その右にいる者たちに言います。『さあ、わたしの父に祝福された人たち。世の初めから、あなたがたのために備えられた御国を継ぎなさい。』

ヨシャパテの谷で行われる、裁きの時です。

主は「羊と山羊とを分けるように、彼らをより分け」、羊に選ばれた人々を右側に置き、「わたしの父に祝福された人たち。世の初めから、あなたがたのために備えられた御国を継ぎなさい」と言われます。

祝福を受ける理由は、マタイの福音書 25 章 40 節に書かれています。「わたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。」

イスラエルの民が苦しんでいる時、彼らに水一杯でも与えた者は、永遠の祝福を受けます。

マタイの福音書 25 章 45 節で、山羊に選ばれた悪い者に対して主は、「まことに、おまえたちに告げます。おまえたちが、この最も小さい者たちのひとりにしなかったのは、わたしにしなかったのです」と言って、彼らを永遠の刑罰に送られます。

イスラエルの民を襲う諸国民への刑罰の基は、一人ひとりがイエス様のご兄弟であるイスラエルにしたこととなります。

黙示録 14 章 20 節「血は、その酒ぶねから流れ出て、馬のくつわに届くほどになり、千六百スタディオンに広がった。」

馬のくつわは馬によって高さが異なりますが、およそ 1m から 1.5m ほどです。

強大な酒ぶねの中の血の量が 1m から 1.5m 以上になり、その血が 1600 スタディオン=約 300 km の距離にまであふれ広がります。

エルサレムにあるヨシヤパテの谷から、ヨルダン国にあるボツラまでです。

◆MEMO◆



OMEGA MINISTRIES
ΩMEGA BIBLE STUDY